

松木田 慶子（鹿児島大学医学部第一内科）

【留学先】Hoag Heart Institute

【テーマ】経食道三次元心臓超音波による僧帽弁形成術前後の僧帽弁膜症の診断

【経過報告書】JSE News No.11 (H12.12.25)号掲載

2000年9月から米国カリフォルニア州ニューポートビーチ市のHoag病院において、Pravin M. Shah先生のもと、経食道心エコーによる術中診断を学んでいます。当病院では昨年僧帽弁逸脱症に対する僧帽弁形成術を約50症例行っており、心臓手術における経食道心エコーによる術中診断は欠かせません。閉塞性肥大型心筋症に対するMyectomyの手術でも術中経食道心エコーにより切除範囲を再検討し、術後は収縮期僧帽弁前方運動SAM、圧較差を評価し、必要であれば引き続き手術操作を追加しています。手術室では心エコーの画像を見ながら外科医、麻酔科医、心臓内科医でディスカッションをしますので、理解しやすく勉強になります。Hoag病院でリサーチを目的に仕事をしているのは私ぐらいで、臨床の場で働く医師やソノグラファー、その他病院のスタッフの協力をもらいながら、僧帽弁形成術に関する研究も行っています。ニューポートビーチは気候もよく、安全性も高く、また私は病院のスタッフにも恵まれ、良い環境でじっくり勉強できます。貴学会から海外留学助成を受けまして、このような貴重な経験ができますことをたいへん感謝いたしております。